

ふりがな	いまとく しんご		
氏名	今徳 真吾		
生年月日	1976年	7月	4日生 (満 42歳)
肩書き	房総一無駄に早起きなラジオ体操指導員、石油会社社員		



○プロフィール

1976年7月 鹿児島県鹿児島市生まれ。

1995年4月 高校卒業後、千葉の石油会社へ就職、現在に至る。

小学生の頃から親は共働き、父親の職業は「チリ紙交換」。家は貧しく、昔ながらの木造、トイレと風呂は外の離れにあった。母の苦勞を感じる一方で、父親の職業を恥ずかしいと思っており、大嫌いだった。貧乏なのに見栄を張る性格でいじめられる要素が揃い、陰湿ないじめを受ける。高校2年で父親他界、家族で一人だけ涙が出なかった。

とにかく家を出たくて、千葉の石油会社へ就職。(就職してから初めての帰省は7年後)

若い頃は楽しさや遊びばかりを優先し、何も考えずに適当に過ごしていた。(ギャンブルや夜遊び、楽なことばかりする)

それでも、周りより仕事も出来、色々な事をうまくこなせている・・・と思っていた。

承認欲求は強かったのか？ピーチクリーンやボランティアを主導する事も・・・。

30歳の時に大切な2つの命を亡くし、アルコール依存となる。もう、このままだめになってしまうのでは？との恐怖感。

お酒での失敗も数知れず・・・留置所経験〇回！。唯一、色々相談していた鹿児島島の幼なじみが30歳で他界。悲しい中、なぜか冷静な自分、人生の残り時間について考えるようになる。(健康も時間も無いがしろに生きる僕に、親友が気づかせてくれた)

そんな時、登山家の栗城さんと出会い、栗城さんの描く未来「応援し合う社会、一歩踏み出す人を増やしたい」に強く共感。

現役冒険家が現在進行形で語る思いに感動する。そして、徐々に失いかけた健康と希望を取り戻すきっかけに。(禁酒・禁煙・運動)

周りを応援をする中で、自分は“己の事”よりも“周り”に向かって生きる方が、生き生き出来ると確信。周りを少しでも幸せにする存在になると決意した。現在は、「応援し合う地域社会」実現に向けて、ラジオ体操を通し地域のコミュニケーション・住民の健康を応援している。大きな事は出来ないが、これからの高齢化社会に向けて、希望を持てる地域作りを模索中。

今回のオーディション出演で自己をもう一度見つめなおし、何の為に生きるのか？、次のステップへと進む足掛かりにしたい。

「私には何も無い！だからこそ何でも出来る！！」

○実績

地域でのラジオ体操指導、高齢者に向けた運動教室、体力作りイベント主催等の実績あり

その他のテーマ：「アルコール依存、煙草からの脱却」「石油業界で働く意味」「健康から地域を作る」「応援力」

○その他

資格：ラジオ体操指導員、高齢者体力作り支援士

公害防止管理者（大気1種、水質1種）、熱エネルギー管理士、その他、エネルギー関係資格多数・・・